



消防大学校だより



■ 現任教官科（総務・予防及び警防） 第1期の実施

消防大学校では今年度新たに設置した、現任教官科(総務・予防)及び現任教官科(警防)を実施しましたので御紹介します。

これらの学科は、現任の消防学校教育訓練担当職員等に対し、業務運営の企画及び予防業務・警防業務を包括的に指導できる能力を向上させることを目的に設けたものです。

1 現任教官科（総務・予防）

「現任教官科（総務・予防）第1期」は3月5日から5日間（32時間）の教育日程で実施しました。

全国の消防学校から27名の学生が入校し、消防学校の教官としての指導能力を向上させるための「教育技法」「講義演習」や予防業務に対する興味やモチベーションを向上させるための「予防教育のあり方」、学生の個性を理解せず対応することにより生じるパワハラ等を防止するために、指導者として必要な個性に関する知識を身につけるための「臨床心理学から見る職員管理」「人権問題（知っておきたいLGBT）」についての講義を実施しました。

現任教官科の卒業生が、消防大学校で学んだことを全国各地の消防学校における教育現場において生かしていただき、一層活躍されることを教職員一同祈念しております。



講義演習の様子2



臨床心理学からみる職員管理
(消防大学校客員教授 山崎講師)



知っておきたいLGBT
(虹色ダイバーシティ村木講師)



講義演習の様子1



入校式（学生宣誓）



2 現任教官科（警防）

「現任教官科（警防）第1期」では3月12日から5日間（教育時間32時間）にわたり、現任消防学校教官として個々の指導能力を向上させるための講義、訓練を次の4点を柱とし33名の学生に対して実施しました。

- ① 消防学校における安全管理の取組、警防訓練の企画及び教官としての指導能力を高めるための「訓練指導演習」を実施し、指導方法の再確認と指導技術の向上を図りました。
- ② 火災性状の理解と指導要領を習得するための「実火災体験型訓練（ホットトレーニング）」を実施し、火災性状、注水効果及び個人装備に関する理解を深めました。

③ 部隊運用に必要な現場指揮の訓練手法を習得するための「指揮訓練（シミュレーション）」を実施しました。

④ 「ハラスメント対策を意識付けるための（実務管理）」の講義を実施し、消防学校教官として認識する必要があるハラスメントについて理解を深めました。

今後、消防大学校で習得した知識・技術・気づきを持ち帰り、各消防学校でこれからの消防を担う消防職・団員の教育訓練において、情熱を持って指導していただくことを期待しています。



指導演習の様子1



実火災体験型訓練



指導演習の様子2

問合わせ先

消防大学校教務部 山神助教授、鳥山助教授
TEL: 0422-46-1712